

社団法人 音楽電子事業協会 平成 19 年度事業計画・委員会活動(案)

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

(1) 全体活動

当社団が過去 10 年間に蓄積してきた実績の上に、電子楽器・電子機器及び関連ソフトウェアの分野において、今後の変化に対応するための準備をする。

また、積極的に新規分野の関連諸情報をもとに、関係会員企業の協力等を受け、速やかな対応をすべく、各委員会活動を積極的に推進する。

尚、以下の各委員会活動は、定款第 4 条(事業)の各項に準ずるものとする。

(2) 製品安全・環境委員会

<活動方針>

電子電気楽器及び関連機器の安全確保・環境保全を両軸とした、技術、法律、諸規格に関する諸問題の調査研究を、両専門部会が主体性をもって推進することにより、会員各社の専門知識、技術の習得とあわせて電子電気楽器及び、関連機器市場における製品の安全性や信頼性の向上を目指す。

同時に電子電気楽器及び関連機器市場における製品の安全性の確保、更にはそれに伴う関係会員企業の事業の安定化、事業リスクの低減等に寄与するものとする。

・ 委員会活動

二つの専門部会の協力体制の下、役割分担を再検討し、本委員会活動の趣旨をまっとうするための運用上の施策として、活動環境の整備、工夫改善等を積極的に取り込む。

・ 安全規格部会・環境問題研究部会の活動

会員の技術向上を目的として、各部会に於いて、関連する諸技術テーマを捕らえて、セミナー開催を企画する等により、外部情報の提供とその共有化を積極的にすすめる。

(3) MIDI 規格委員会

<活動方針>

昨年度から、本委員会を従来の幹事会制から、新生 MIDI 規格委員会として新委員長のもとで新たに、全 AMEI 会員からメンバーを募り、新たな市場創出を目指した新規格提案とその一連の審議等の諸活動を開始した。

平成 19 年度は、新生 MIDI 規格委員会の第 2 年度として、その本来の重要テーマとして前年度から検討を開始した次世代 MIDI 規格を軸として、アクティブ着メロ WG も含めて、日米の密な協力体制の下で、年度内を目処として、一連の成果をまとめるべく、米国 MMA との連携作業のもと合同会議の開催等により、将来に涉り、より広い商品ジャンルで活用・応用可能な MIDI 規格として正式に規格化すべく、本委員会活動を継続して実施する。

・ 委員会・部会活動計画案は以下のとおり

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| * 委員会 : | 年間 5 ~ 6 回 |
| * MIDI 1 . 0 部会 : | 年間 4 回 |
| * アクティブ着メロ部会 : | 年間 6 回 |
| * 次世代 MIDI 部会 : | 年間 12 回、及び電話会議 12 回 |
| * 次世代 MIDI 部会ハード WG : | 年間 12 回 |
| * 次世代 MIDI 部会ソフト WG : | 年間 12 回 |

(4) 著作権・ソフト委員会

<活動方針>

- 1、著作権等管理事業法の制定に伴い発生した問題点等を解決すべく関係団体と協力し文化庁に対する活動を引き続き活発に行う。又、様々な状況の変化の中で新しい問題に対して制度疲弊を起こしていると考えられる部分に対しては、関係省庁、管理事業者等に積極的に発信していく。
- 2、定例会を通じ各部会の取り組み課題、管理事業者との協議状況をタイムリーに情報提供、会員の意見を吸収、部会活動に反映させる事により活発な活動にする。

- ・ カラオケ部会

JASRAC と使用料規程の見直しに関する協議を継続する。

JASRAC と管理除外になった楽曲の取り扱いにつき継続協議する。

イーライセンスと「業務用通信カラオケ」の使用料規程案について協議する。

- ・ 音楽配信部会

音楽配信事業に関する音楽著作権管理事業者との協議を NMRC 活動として行う。

又、その情報を定例会にてスピーディーに伝達すると共に、会員の意見を集約し協議に反映させる。

利用事業者、管理事業者ともに膨大な事務量の削減に向けて、NMRC 実務 WG 活動をする。

必要に応じ、NMRC として関係省庁及び関連団体と情報交換、意見交換の場をもち、問題解決に取り込む。

- ・ ソフト規格部会

ワーキンググループを通じて、MIDI 及び音楽関連ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施、インターネットを始めとした新しいメディアに於ける音楽電子事業の研究を行う。

GCP WG (電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関するWG 12回、勉強会2回)

電子楽器内蔵コンテンツ(音楽素材データ)に対する著作権上の保護施策の調査研究及び広報

DMN-WG (電子的な譜面表示に関するWG 2回、通常はメーリングリストにて) 譜面等視覚的表示を伴うMIDIデータのインタラクティブ配信に関する諸問題研究

平成19年度AMEI著作権・ソフト委員会 定例会開催スケジュール

開催	開催予定日	開催時間	備考
1	平成19年 4月12日	13:30~15:00	
2	平成19年 5月17日	13:30~15:00	
3	平成19年 6月14日	13:30~15:00	
4	平成19年 7月12日	13:30~15:00	
5	平成19年 9月13日	13:30~15:00	
6	平成19年 10月11日	13:30~15:00	
7	平成19年 11月 8日	13:30~15:00	
8	平成19年 12月 13日	15:30~17:00	恒例忘年会
9	平成20年 1月10日	13:30~15:00	
10	平成20年 2月14日	13:30~15:00	
11	平成20年 3月13日	13:30~15:00	

* 会場は、神保町岩波セミナールーム

(5) 透かし推進プロジェクト

1. 活動方針

A M E I が提供する「標準 M I D I 電子透かし」(第一層)埋め込みツールである MIDIsign を用いて会員企業が ISMC 規格を利用するように促進し、M I D I データ作成、販売における D R M (電子的権利保護)の仕組みを構築する。

共通透かし規格の利用によりデータの違法複製抑止、ならびに権利者からの円滑な許諾を獲得して業界の発展に貢献する。

2. プロジェクトは3つのワーキンググループによって構成される。

1) 技術ワーキンググループ

- ・第2層透かし技術を持った会員が登場した際の親和性等を検討する
- ・技術および開発面におけるメンテナンスと各社へのコンサルティング支援の実施。
- ・米国 M M A との技術面における説明、情報交換と交渉の実施
- ・リコメンデッドパターン(会員企業が自己管理するスペースのテンプレート)の整理

2) 運用ワーキンググループ

- ・I S M C (仮称: International Standard MIDI Code)の規格普及。
- ・管理運用サーバーの維持運営

3) 普及展開ワーキンググループ

- ・MIDI 規格委員会など A M E I 内の各委員会、部会との連携
- ・利用促進パンフレットの作成と契約促進活動の展開
- ・JASRAC など、外部団体への情報提供と連携
- ・米国 M M A との交渉

(6) メディアコンテンツ委員会

会員を対象とした各種新技術の紹介等、メディアコンテンツ関連のセミナーを企画、開催する。今期の企画として実施に向け検討中のセミナー案は以下の通り。

- 1) Dolby 社の新音声圧縮技術の紹介と実演デモ
- 2) 尚美学園大学 富田研究室、野尻氏による音源ビジネスの最前線
- 3) クリプトンフューチャーメディア社による音源ビジネスの最前線
- 4) 早稲田大学のミュージシャンロボットのコンセプトとその技術研究
- 5) MIDI 規格委員会で検討中の次世代 MIDI 規格の将来的応用等を幅広く、別の視点で検討し、新規格への必要な情報・機能等を盛り込むための諸検討・提案をする
詳細は、別途関係部門と情報交換等の機会を設ける

(7) MIDI 検定委員会

1. 活動方針

- ・MIDI 検定試験の減少傾向に歯止めをかける方策を検討・実施する。
- ・現在の検定プログラムの拡大発展について新たに検討する。
- ・検定協力校での MIDI 普及を強化する。
- ・収支バランスを改善すべく具体的な手法の検討他、必要な見直しをする。

2. 事業計画

- ・検定試験

第10回 MIDI 検定試験3級、第9回2級筆記試験 平成19年12月2日(日)

第9回2級実技試験 平成20年2月 東京、大阪、東京アップル会場
4級認定講座 随時

- * 検定受検協力校での3級の学内受験制度の具体化について検討する
- * 検定プログラム全体の拡大の方策を検討する
- * 特に、1級試験の開始を目標とし、その必要条件、問題点等につき検討する
- ・ 指導者認定講座
 - 4級指導者認定講座 東京、大阪 春
 - 3級指導者認定講座 東京、大阪 春
 - 2級(筆記)指導者認定講座 夏~秋
- ・ MIDI 検定の普及活動
 - 学校におけるMIDIセミナーの検討
 - 2級実技体験セミナーの展開手法の検討と実施
- ・ 海外展開
 - (中国)
 - 第4年度を迎える中国では、継続した実施の元、受験者の実態の把握と、試験自体の質等についても現地の情報をとるべく事前に現地とも意見交換等を行い、将来の発展に備える。
 - (韓国)
 - 初回試験実施に向けて準備中

(8) 事業委員会

1. 活動方針

- ・ 2007年楽器フェア出展の見送りに伴い、事業活動テーマを再検討する。

2. 事業計画

- ・ 他委員会との合同セミナーの企画についても検討する。
- ・ 独自セミナー等の実施について検討
- ・ 2008年度以降の次世代MIDI規格まとめ時期に合わせた活動計画の準備を行う。

(9) 広報委員会

1. 活動方針

社団から外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広く外部に対してアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により、会員相互の連帯感を強め、公益団体としての当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

2. 事業計画

- ・ 会報 「AMEI News」の発行
 - 4月、7月、11月の年3回発行する。
- ・ AMEI ホームページの充実(事務局との連携作業により推進)
 - * 各委員会、部会、WG等の専用ページを設定する。
 - * 英語版ページの更新についての検討をする。

以上